

参加費
無料

子どもたちの心に響く

自然体験プログラム 実践講座（指導者向け）

インタープリテーション・体験からの学びを実践しよう

※インタープリテーション…知識や情報だけでなくその背後にある意味や関係を伝えることをいいます



子どもたちが生き生きと楽しみながら学べる自然遊びや自然体験を考えてみませんか？子どもたちの心に響く自然体験プログラムの作り方や伝え方のスキルを学びながら、プログラムを実践する能力を高める全4回の講座を実施します。

第1回	8/25 (日)	基礎編	自然体験の意義や、伝え方の工夫を考えます。
第2回	9/14 (土)	実践編①	湖・川をフィールドとした実践講座です。
第3回	10/14 (月・祝)	実践編②	森・山をフィールドとした実践講座です。
第4回	10/26 (土)	実践編③	野原・公園をフィールドとした実践講座です。

▶ 各講座の詳細は裏面をご覧ください

こんな方にオススメ！ /

- 環境学習に興味がある、もっと深く知りたい！
- 子どもたちに伝える環境学習のスキルを身につけたい！
- 自然体験や環境学習に関わる人たちとのネットワークを広げたい！
- 子どもたちに対して自然体験プログラムを実践してみたい！
- これまで行ってきたプログラムを工夫・改善したい！

受講参加者 募集中！

実践講座の 参加申込について

申込締切は8/20(火)まで

定員に達し次第
申込受付を
終了させていただきます

ネット申込

必要事項（所属先、氏名、年齢、連絡先、活動歴など）をご記入ください。

お申込はコチラから ➡



電話申込

お電話からお申し込みいただけます。下記お問合せ番号にお掛けいただき、各講座の参加の旨と所属先、氏名、年齢、活動地域またはお住いの地域（市町）、電話番号、メールアドレス、配慮が必要な方はその内容をお伝えください。

担当：株式会社エフエム滋賀 編成制作部 伊勢村

講座日程(全4回)

※当日の受付は講座開始時間の30分前から行います。

基礎編

8/25 (日) **会場** 淡海環境プラザ
時間 13:00-17:30

【定員】50名

【対象者】これから環境学習に取り組みたいと考えている方

【内容】

- ①自然体験の意義や体験学習法について ②インタープリテーションについて
- ③コミュニケーション、対象者理解、子どもを取り巻く環境について
- ④明日から使える自然体験プログラムの実習 など

講師

広島修道大学教授
西村 仁志氏



広島修道大学人間環境学部教授、博士(ソーシャル・イノベーション)。京都YMCAに勤務の後、1993年個人事務所「環境共育事務所カラス」を開業。自治体や企業、NPO等の環境学習・市民参加まちづくりのコーディネートや研修会の企画などを行ってきた。

実践編①

湖・川フィールド

9/14 (土) **会場** 坂本支所・大宮川
時間 10:00-16:30

【定員】30名

【対象者】既に環境学習を実践されている方+基礎編受講者

【内容】

- ①湖・川をフィールドとした安全管理に関する実習 ②水生生物調査に関する方法と実践 ③水質指標生物を用いた水質判定の実践 ④水質簡易測定「バックテスト」の実践 ⑤水生生物調査と水質調査の結果の比較、考察など

環境省環境カウンセラー(市民部門・事業者部門)

講師

川島 大助氏



技術士(建設部門 建設環境)。民間企業に勤務し、環境コンサルタント業務(河川やダム湖等の水生生物調査・解析・検討)を行う。またNPO等の環境保全団体に複数所属し、様々な立場で、行政、企業、市民、学校関係への環境学習の企画・運営、環境教育を行う。環境啓発教材(図鑑、冊子、ポスター、動画等)の制作にも携わる。

実践編②

森・山フィールド

10/14 (月・祝) **会場** マキノ高原
時間 10:00-16:30

【定員】30名

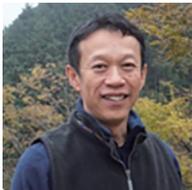
【対象者】既に環境学習を実践されている方+基礎編受講者

【内容】

- ①森・山フィールドを活かしたプログラム体験 ②自然体験を深める体験学習法に基づく指導法 ③三方よしのプログラムの作り方 ④実習と講義で学ぶ、子どもプログラムと自然体験活動における安全管理

講師

NPO 法人里山倶楽部代表理事
新田 章伸氏



日本の文化・伝統が息づく里山をフィールドに自然体験活動を実践。主催の里山キッズクラブ事業21年、地元小学校の学校林活動を通じた環境学習20年。日本環境教育フォーラム自然学校指導者ディレクター。自然環境保全団体・青少年団体等の指導者養成にて講師の実績多数。「自然と子ども」をライフワークに活動している。

実践編③

野原・公園フィールド

10/26 (土) **会場** 近江富士花緑公園
時間 10:00-16:30

【定員】30名

【対象者】既に環境学習を実践されている方+基礎編受講者

【内容】

- ①野原・公園をフィールドとした安全管理について ②自然を活かしたプログラムづくりについて ③自然フィールドを活用したアクティビティづくりについて ④各団体における応急救護プログラムの在り方について

株式会社宙の森 代表取締役 宙の森研究所所長

講師

田中 誉人氏



学生時代より自然体験活動に関わり、1年の大半を野山で活動する。(公社)日本シャアリングネイチャー協会、森のようちえん全国ネットワーク等の役員を歴任し、自然教育の推進に全国を奔走する。現在は株式会社宙の森を起業し、自然体験型ホテル「宙の森ホテル花郷里」及び自然体験活動指導者を養成する「宙の森研究所」を運営している。

※各講座の集合場所、時間等についてはお申し込んだ方に別途ご連絡いたします。

イベント当日

11/23 (土)

会場 矢橋帰帆島公園大はらっぱ広場

時間 10:00-16:00(予定)

矢橋帰帆島公園大はらっぱ広場で親子で楽しめる自然体験イベントを開催します。

※本講座に参加いただいた方はぜひ出展いただければ幸いです。

今回の講座での学びを活かし、子どもたちにプログラムを実践しましょう。